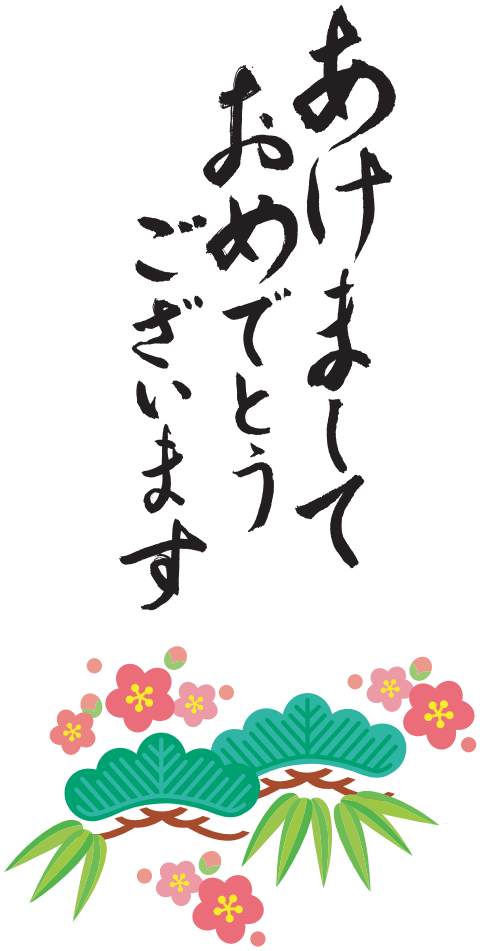
SIC かわらばん
- Sagamihara Incubation Center - さがみはら産業創造センター　編集・発行
2010年1月7日(木)
1月号
No. 67
SAGAMIHARA INCUBATION CENTER



新春を希望に満ち、清々しくおむかえのことと存じます。

昨年の新語・流行語大賞に「政権交代」、漢字は「新」が選ばれましたが、景気を振り返ってみますと、一昨年のリーマンショックに発した景気の急低下は、1～3月期にこれまでに経験したことのない売上減少に見舞われました。その後4～9月は国内ではエコカー減税、エコポイントなどの景気テコ入れ策と、中国やアメリカなど諸外国の景気対策の効果が表れはじめた結果、少し持ち直す状況になりました。しかし、10～12月は円高やドバイショックにより再び不透明感が漂い、「デフレの様相を呈している」との政府の発表がされると、さらに先行き不安感が増しているのが現況ではないでしょうか。

株式市場をみると新規上場社数は、低調だった一昨年の49社よりも大幅に少ない19社に終わり、最も縮小した1992年の26社を下回る結果となりました。

ただし、これまで3年連続減少した翌年は、増加に転じることが多いそうで、来年の干支にかけて考えてみますと、「寅」の本来の読みは「いん」で春が来て枝葉が伸び始める状態を表しているともいわれ、また、「虎は一日に千里を走る」とのことわざは、虎は一日に千里の距離を走って戻ってくることができるほど優れた行動力を持っていると言われるところから、勢いが非常に盛んな様子のたとえであり、景気回復がすすめば今年は増加に転じることが期待できるのではないかと思います。

私どもＳＩＣでは、入居企業の成長を支援するため、企業経営者ＯＢによるメンター制度の創設や、入居企業と大手企業などを結びつけるマッチング事業などに取組んでまいりました。　また、雇用調整助成金制度を活用した教育事業（さがみはら未来塾）などにも取組んでまいりました。企業の持続的活動や成長には人材は不可欠で最重要な経営資源であり、新年から企業の人材確保を支援する事業に取組む予定です。

本年は4月より相模原市も政令指定都市に変わることであり、スタッフ一同皆さまとともに手を携えて頑張りますので、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして景気が好転し幸せで飛躍の年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

平成22年1月
株式会社さがみはら産業創造センター
代表取締役　石川幸二

2010年は庚寅（かのえとら・こういん）。六十干支の27番目。
寅年の年男・年女は、1902年（明治35年）、1914年（大正3年）、1926年（大正15年・昭和元年）、1938年（昭和13年）、1950年（昭和25年）、1962年（昭和37年）、1974年（昭和49年）、1986年（昭和61年）、1998年（平成10年）生まれの皆さんです（※誕生日が元旦から節分までの人は前年の干支とされています）。

SICからのお知らせ

第４回協創マッチングフォーラム開催のご案内

この度、協業による新製品・新技術・新事業の創造を促進することを目的に、第４回協創マッチングフォーラムを開催いたします。先端的な技術シーズを有する企業と、次世代技術を求める企業が一堂に会します。協業による新製品・新技術・新事業の創造を目指しているベンチャー・中堅・中小企業様は、ぜひともこの機会をご活用下さい。

【開催概要】
開催日：平成２２年１月２８日（木）９：５０－１７：３０
場　所：大田区産業プラザ　４Ｆコンベンションホール
内　容：①ベンチャー企業、中堅・中小企業によるプレゼンテーション
　　②個別面談　③交流会
【面談のお申し込み期限】平成２２年１月２０日（水）
【プレゼン聴講のお申し込み期限】平成２２年１月２２日（金）

詳しくは、http://www.ksp.or.jp/k-forum/summary/4th/ をご覧下さい。（SIC ホームページの上記バナーからもご覧頂けます。）
【お問い合わせ先】上野（内線 1114）、安藤（内線 1113）まで

紙問屋横山家

奥の細道
（矢立初めの地）

石川の日光街道　道中記　第１回

－ 21 年 12 月 8 日（日）日本橋 ～ 草加宿 －

東海道を６月に歩き終えて「次は、何をしようか -----」と考えているうちに半年が過ぎてしまった。マラソンの練習時間のこともあり、一番距離が短い日光街道に挑戦することにした。

日光街道は江戸～日光までの21宿142 km である。宇都宮までは奥州道と呼ばれていたが、徳川将軍の東照宮への参詣が盛んに行われるようになると、日光街道と呼ばれるようになった。

６時 50 分日本橋に立つ。これまで日本国道路元標などに目が向いて、反対側の橋詰の魚河岸跡記念碑を見て、この地に大正１２年まで魚河岸があったことを初めて知りました。三越前を右折すると、ホテル ギルモンド東京の植込みに水戸街道の道標がある。小伝馬町交差点を左折すると十思（じっし）公園がある。ここは傳馬町牢屋敷跡で吉田松陰終焉の地でもあり、前の大安楽寺には江戸伝馬町処刑場跡の碑がある。繊維問屋街の横山町そして玩具の浅草橋をすぎる。浅草では雷門をくぐり、シャッターを開け始めた仲見世を進み、改装中の本堂をお参りして道中の安全を祈願する。

言問橋の向うには東京スカイツリーが 245mを越えた威容を表している。２０１１年１２月の完成時には６３４m（武蔵）となり自立式電波塔として世界一だとか。

９時を回っても５km しか歩けず、泪橋を過ぎ南千住の小塚原刑場跡・回向院と巡り、千住大橋を渡ると「奥の細道 矢立初めの地」の碑がある。初めての宿場千住宿に入る。千住はやっちゃ場（市場）として江戸へ青物を供給する一大市場として栄え、青物問屋　葛西屋・葱問屋　川﨑屋・川魚問屋　鮒与等の屋号立て札があり、昭和の４０年代まで見られた活気のある商店街である。歴史プチテラスの係員が「今でも６割の方は以前から住われている方々」ということでさぞ住み良い土地柄と思われる。紙問屋横山家や絵馬屋、接骨医の名倉医院など2km ほどの中に凝縮され、また訪れてみたい街並みである。

荒川を渡り、梅島駅を過ぎ、環七を越えて島根を左折すると、秀忠や家光が日光参詣のおりに立ち寄ったといわれる国土安穏寺があり、その先には小林一茶ゆかりの炎天寺がある。

街道に戻り竹ノ塚では道中距離は１４ km にもかかわらず、すでに時刻は１４：１８のスローペースである。保木間を過ぎ毛長川を越えると草加市に入り、せんべい屋が目に付くようになる。瀬崎浅間神社・火あぶり地蔵をすぎ、草加宿に入ってきたが「本日はここまで」と草加駅に向かい、１４：３０到着。街道歩行距離１８ km でしたが、見物時間や道を間違えたりしたので実際は２２～２４km でしょうか。万歩計は 38,984 歩でした。

つづく

2010年1月

【今月の経営スケジュール（３月期決算の会社参考）】
経理：１２月源泉税・地方税納付、扶養控除等申告書提出、給与計算・試算表作成
税務：償却資産税申告、合計票提出、給与支払報告書提出

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 元旦	2
3	4 会議室３月分予約受付開始	5	6	7	8 さがみはら未来塾	9
10	11 成人の日	12 SIC-2 ガラス清掃 ＊SIC-1 エレベーター点検	13 SIC-2 空気環境測定	14	15 さがみはら未来塾	16 経営塾 SIC-1 床面定期清掃
17	18	19	20	21 SIC-1 専用部ガラス清掃	22 さがみはら未来塾 SIC-1 自動ドア保守点検	23
24 31	25	26	27 職場リーダー養成塾	28 協創マッチングフォーラム	29 さがみはら未来塾	30

＊ エレベーター点検　SIC-1　10:00～11:00 の間はご利用になれません。　お問い合わせは　生井（内線 1116）まで

産学連携 大学・研究室紹介　青山学院大学 Aoyama Gakuin University

青山学院大学

理工学部
設計情報工学研究室

教授　佐久田 博司 氏

私の研究室は、設計情報全般を扱う研究室です。現代的な生産プロセスには欠かせないITの力を十分に生かすためのシステム開発や、実際のものづくりについて研究しています。

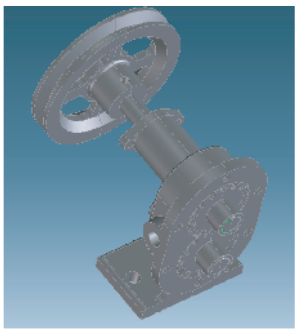
最近の研究テーマは、設計情報マネージメントと教育手法に関するものが中心で、大学内でも、教育用設計システムの整備などの具体的なサービスを担当しています。

教育に関する研究では、大学院GPプロジェクトの一環で、ラーニングマネージメントシステム（LMS）の運用と改良によって、大学内の学術情報の活用のための基盤開発を行っています。大学内に限らず、企業などの組織の中に埋もれている過去の情報資産を活用する努力はさまざまに試みられていますが、持続可能な形態でシステム化することは、個別にいろいろな課題があり、一元的な方法では解決しないのが現状です。このプロジェクトは、情報の共有と公開の基本的な仕組みを改良することによってそれを解決しようとしています.

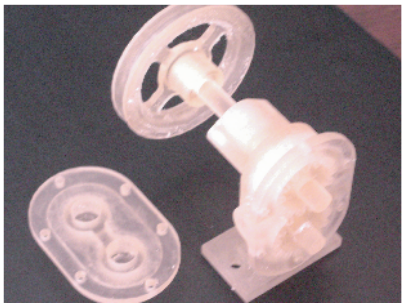
設計情報関連では、目に見えにくい情報の可視化や、実物による教育を取り入れています。右の図は、2年生向け「図形科学演習」の課題の一つで、受講者2名が協力して、参考図面から3D CADとラピッドプロトタイピング（RP）装置を使って実物模型を作成するまでを体験します。模型の用途としては、産業界と同じように、意匠設計や組み立て方法の検討に使いますが、それ以外にも、加工精度や「はめあい」を実感させることなど、さまざまに想定されています。RPでは機械加工のような熟練技術を必要としないため、設計者が設計計算結果を直ちに実物の試作に反映させることができるなど、本情報テクノロジー学科の学生にとってメリットがあります。

来年2010年の8月に、以上のようなITを使ったものづくりのプロセスを体系的に実習する講座を本学のオープンカレッジで開講します。ご興味があればご参加ください。

問合わせ先：佐久田（sakuta@it.aoyama.ac.jp）



3D CAD による設計



RP 出力による実物模型

【お問い合わせ先】

共同研究について：
青山学院大学　研究支援ユニット課長 杉野 郡二 ☎042-759-6056
理工学部・研究科について：
青山学院大学　学生支援ユニット　学務グループ
理工学部・研究科担当　☎042-759-6033
http://www.aoyama.ac.jp/graduate/science/index.html
http://www.cseis.aoyama.ac.jp/

ご案内

経営相談（無料）を実施しています。

SICメンター紹介

SICでは、**経営相談（無料）**を実施しています。いつでもお申込み、お問い合わせ下さい。　ご連絡をお待ちしています！

- これまでの相談内容 -

・どのように事業継承するか迷っている
・新製品を開発したので特許を取得したい
・就業規則や賃金規定をきちっと整備したい
・商品のパッケージを一新したい
・3ヶ月近く入院し、休職している社員への今後の対応について
・裁量労働制の導入についての注意点について
・株式譲渡について
・資金繰り、収支計画について
・製造委託契約について
・飲食店開業に伴う諸手続きや開業後の経理処理について　など。

専門家は、メンター・公認会計士・税理士・弁理士・司法書士・社会保険労務士・デザイナーなどの方々です。

SICホームページからお気軽にお申し込み下さい。

http://www.sic-sagamihara.jp/index.html

今年度から企業支援サービスを充実する一環として、メンター制度を創設し、現在、企業経営ＯＢである3名の方にお願いをしています。

●**小林 守** 氏（株式会社産創コラボレーション　代表取締役）
株式会社日立製作所出身、
元株式会社日立ＣＴＭ代表取締役社長

●**小森 治** 氏（株式会社カイゼン・マイスター　代表取締役）
トヨタ自動車株式会社出身、
元株式会社セントラル自動車代表取締役社長

●**佐藤 康夫** 氏（株式会社アイ・ビー・アソシエイツ　代表取締役）
元株式会社日本エア・リキード代表取締役社長

メンターの活動は、企業の経営経験、業界や技術の知見と高次のネットワークを有することから、本年度から開始しています「SICサポータズミーティング」の場を中心に、ベンチャー・中小企業の事業戦略への助言や、生産・販路などの協業先紹介等の支援を行っていただいています。

今回「企業をサポートし隊」では、SICメンターの小林守様からの寄稿をご紹介いたします。

企業をサポートし隊!! vol.58

【シリーズ企画　企業支援の現場から・・・メンター編】

「活発な起業が産業の活性化を支える」

新年明けまして　おめでとうございます。本年が入居企業各社様にとって、更なる飛躍の年となります様お祈り致しております。

市場に明るい兆しが見えてはおりませんが、こういう時にこそ、起業や新規事業の活発な動きが重要ではないでしょうか。入居企業の皆様にとっては、大変ご苦労の多いことと思いますが、このご奮闘が明日の地域産業を大きく支えていくものと確信しています。

いかなる大企業も、ベンチャー企業つまり小企業の起業から出発しています。こうしたゼロからの挑戦をするベンチャー企業の数が多いほど、産業活性化が促進され、高度化が進む事は間違いのない事実です。此れまでも、多くのベンチャー企業が産業発展の基礎を担ってきました。第２次ベンチャーブームが起きた１９８２年は、製造業を中心とした第２次産業から、流通・サービス業を中心とした第３次産業へと、産業構造が転換する時期でありました。即ち、産業構造の大きな変化の時期に大きな起業へのうねりが起きています。そしてそれは、産業のイノベーションとなって、次なる発展に繋がっていると考えられます。残念ながら第２次ベンチャーブームは、１９８５年におきた円高不況によって「ベンチャー冬の時代」を迎えましたが、この次期に、現在のベンチャーキャピタリズム(注)の基礎が築かれたと言ってよいでしょう。

世界に知られた本田技研工業やソニーなども、１９４６年と１９４８年に２０名でベンチャーとして起業されました。先端産業を牽引している最大手企業のソフトバンクも、１９８１年に従業員３人で事業を始めたベンチャー企業でした。２８年前に福岡のアパートの一室で、アルバイト２人と始めたソフトバンクの事業は、いまや世界を席巻する事業となったわけです。月並みですが、起業とは「単に事業を起こす」ことではないと考えています。技術・製品・サービスの新たな付加価値を生み出し、市場のニーズに応え、市場を創生することであると同時に、何よりも重要なことは、これらの起業と事業行為を通じて、社会の発展に貢献することではないでしょうか。そして、社会の真のニーズに応え産業の次なる発展に資することこそ、ベンチャー企業発展の源泉ではないでしょうか。

昨年から始まった ＳＩＣ サポーターズミーティングも、４回の検討を重ね、小生も毎回メンターとして参加させて頂いていますが、何時も各社社長様の事業に対する熱い想いと、その技術・製品のすばらしさには感心させられます。一方で、開発した技術・製品の販路開拓に悩んでおられるケースも多く、各社共通の課題ともなっている現実から、市場ニーズとの乖離も強く感じられます。

各社とも、技術開発の経験豊富な人達が起業家となっておられ、これまで培ってきた技術を基軸に新事業が展開されています。ベンチャー成功の為に考えられる新事業の展開とは、如何なるものであろうか。理想ではあるが、市場が切望し社会が欲しているところの明確な技術・製品ニーズの見極めが先ずは大きな仕事で、次に、見極めたニーズに対する自社技術の整合性と開発戦略を考えることが、新事業展開の重要なステップと言えます。

さがみはら産業創造センターは小生にとっても運命共同体であり、今後も入居企業の皆様と一緒に、事業の課題に悩み、解決への努力、ご支援をして参りたいと思います。

我が家の小さな庭にも、春を待ちわびる小鳥達のさえずりが聞こえます。平成２２年の新春にあたり、SIC 入居企業様の事業にも春の季節が訪れんことを心から祈っております。

(注) ベンチャーキャピタリズム　ベンチャー・ビジネスとベンチャー・キャピタルの相互作用によって、付加価値有る新しい産業が生まれるという考え方

上鶴間・長嶋神社近く SIC アドバイザー　権藤 徹志氏 画

SIC メンター
小林　守　記

チャレンジショップを担当の「飯山のいい店み～つけた！」と「山本のめし屋レポート」を隔月で掲載しています。

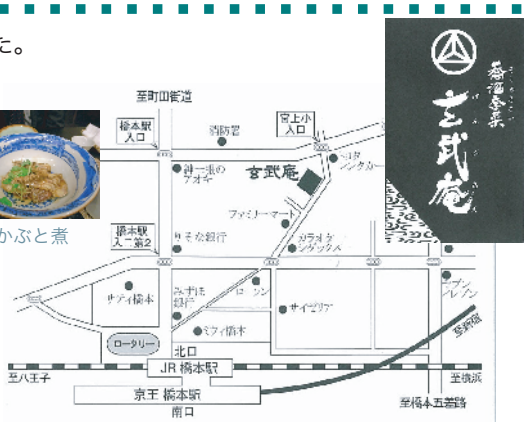
山本のめし屋レポート

蕎酒季菜（そしゅきさい）『玄武庵』げんぶあん

橋本に美味しい蕎麦、美味しい酒、そして美味しい料理が楽しめる店が誕生しました。
開店間もない 12 月 24 日に知人を誘って行ってきました。
先ずはお酒。「群馬泉」を燗で。
そして、蒸しつぶ貝、蒸しまめイカをつまみに
「いずみ橋」（神奈川）「喜正」（東京）と珍しいお酒を次々といただきました。
そしてお料理。平政のお刺身、真鯛の昆布〆は絶品でした。
そして鯛のかぶと煮。
最後はお蕎麦。おろしそばと天せいろをいただきました。
うまいです。
予約すればコースも 2,980 円からあります。
是非一度訪ねてください。お薦めします。
橋本駅北口から徒歩５分。
１月中にこのかわらばんを持参するとおいしいサービスがあります。

かぶと煮

天せいろ



■住所 相模原市橋本 3–20–17　ディム橋本１F ■Tel.,Fax042-703-3341
■営業時間 11:30-14:00（お昼は１月１４日木曜日からはじめます。）17:30-22:00　■定休日：火曜日

編集後記

あけまして おめでとうございます。年末年始は、いかがでしたでしょうか。家で寝正月、風邪をひいて寝正月、いえいえ元気に海外旅行、はたまた仕事で休みがなかった等いろいろな新年をお迎えのことと思います。昨年の暮れ「小さな事にこだわってちゃいかんぜよ。」と話していた２５年前に発売された坂本龍馬のお人形が、復刻版で発売されたそうです。寅と龍馬で元気な年になりそうですね。　荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。　（株）さがみはら産業創造センター（SIC）　〒229-1131 相模原市西橋本 5-4-21 電話 :042-770-9119
FAX:042-770-9077　ホームページ：http://www.sic-sagamihara.jp　E-mail: koho@sic-sagamihara.jp